

新庁舎建設基本設計書（案）に対する  
パブリックコメント（市民意見募集）の結果について

1 実施状況

- (1) 募集期間：令和6年3月29日（金）から令和6年4月19日（金）まで
- (2) 意見提出者数：9人
- (3) 意見提出件数：20件
- (4) 意見提出方法

提出方法	直接書面	郵送	ファックス	電子メール	計
人数	1人	－	1人	7人	9人

2 提出された意見の要旨とそれに対する市の考え

番号	意見の要旨	市の考え
1	新庁舎では、市民の集いの中心となる機能を設けてほしい。	新庁舎は、「市民公園」がつなぐ開かれた「みどり」の市役所を基本コンセプトとし、市民広場をはじめ、市民協働スペースや子育て支援スペースなど、市民交流の場となるような機能の配置を検討しております。
2	郵便局やコンビニ等を設置してほしい。	新庁舎への民間事業者の誘致に関しては、庁舎利用者の利便性、必要性などを総合的に判断して検討してまいります。
3	エネルギー効率の向上、照明器具点灯時間の削減などの対策をしてほしい。	照明器具に関しては、エネルギー効率を考慮し、LED照明、人感センサー、昼光センサー、自動照明制御などを導入し、消費電力を低減する計画としております。
4	プライバシーに配慮され、大切な手続きが落ち着いてでき、市民が通いやすい環境を作してほしい。	プライバシーを配慮し、落ち着いて各種手続きができるように計画をしてまいります。
5	新庁舎では、便座式のトイレを多く、設置してほしい。また、障がい者用の駐車場やタクシー用の駐車場を設け、乗降できるスペースを設けてほしい。	トイレについては、高齢者や身体の不自由な方、子ども連れの方など、誰もが使いやすいものとなるように配慮します。駐車スペースについては、車いす使用者駐車施設のほか、おもいやり駐車スペースの設置やタクシー乗降スペースについても検討してまいります。

番号	意見の要旨	市の考え
6	新庁舎は災害に強いシンプルな設計がいいと思う。現在の設計は、ガラス張りでデザイン重視であるため、予算も掛かると思う。	新庁舎は、災害応急対策活動において特に重要な拠点であることから、国土交通省の指針における最も安全性の高い性能を目標としています。今後、実施設計で構造計算を行い、大地震等の災害時にも建物の損傷を軽微に留め、業務が継続できる高い耐震性能を確保してまいります。 予算については、市場の動向、性能・メンテナンス性を考慮しながら適切に管理してまいります。
7	材料費や労務費が高騰しており、予算が足りなくなると思う。 そのため、デザインに優先順位を付け、予算の増大が最小限で適切に行われるようにしてほしい。	予算については、市場の動向、性能・メンテナンス性を考慮しながら適切に管理してまいります。
8	喫茶店、レストラン、地産品の売店などを設置し、市民が集える場所としてほしい。	新庁舎では、行政手続のためだけに市役所を訪れるのではなく、市民協働スペース、子育て支援スペースのほか、那須塩原の魅力発信につながるエリアとして市民広場等を計画しております。
9	那須塩原市が一望できる場所にカメラを設置して、それらの映像を新庁舎の玄関ホールで映してほしい。	新庁舎における情報発信等に関するご意見として、参考にさせていただきます。
10	災害時において駐車場に簡易トイレが設置できるようにマンホールを設置してほしい。	災害時の対応については、マンホールトイレをはじめ、複数の選択肢を検討しております。詳細につきましては、今後の実施設計の中で決定していきます。
11	那須塩原駅にも近接しているので、観光客へのサービスを含めて、Wi-Fi 無料接続ポイントを多数設置してほしい。	新庁舎のフリーWi-Fi の導入については、引き続き、検討してまいります。
12	庁舎が閉庁している時でも営業しているカフェがあっても良いと思う。	カフェについては、営業時間や利便性などを総合的に判断して検討してまいります。
13	那須水害で氾濫した熊川の護岸治水工事は済んでいるようだが、新庁舎予定地付近の地下を那須疏水が流れているため、ゲリラ豪雨に対する排水治水や対策が必要だと思う。	新庁舎敷地は、ハードマップにおける浸水想定区域ではありませんが、昨今の異常気象や線状降水帯による雨水の短時間の集中については、適切な雨水排水計画を立案し、地下免震層への浸水防止策や十分な雨水処理施設の設置を検討してまいります。

番号	意見の要旨	市の考え
14	<p>新庁舎では、市民とまちをつなごうとしていることがよくわかった。</p> <p>昨年参加したワークショップにおいて新庁舎へのこども食堂の併設を提案し、3月に開催したシンポジウムで取り入れると説明があり、嬉しく思っている。</p>	<p>新庁舎では、行政手続のためだけに市役所を訪れるのではなく、親しみやすい便利な庁舎や交流によるまちづくりの拠点となる庁舎を計画しております。</p> <p>また、市民ワークショップを通じてご意見をいただいた、こども食堂やその他の機能の導入については、引き続き検討してまいります。</p>
15	<p>新庁舎建設後の現本庁舎の有効利用について防災用品の展示や体験コーナーとして使用してはどうか。</p>	<p>現在の市役所本庁舎は、空調設備、電気設備、給排水設備などの老朽化が進行していることから、今後も建物を維持するためには多くの費用が発生することが想定されます。そのため、建物を解体し、跡地は売却することを基本とします。</p>
16	<p>新庁舎建設のために予算が削減されていると聞く。これまで継続されてきたものや必要不可欠なものに予算配分されなくては本末転倒であると思う。</p>	<p>新庁舎の建設に当たっては、健全な市政運営を阻害することなく、基金や特例債の活用等、適切な財政計画のもと事業を推進してまいります。</p>
17	<p>公民館などの公共施設の会議室は、予約で埋まっていることが多いため、新庁舎内の会議室を閉庁時に利用できるが良い。</p>	<p>閉庁時における市民交流スペース以外の市民の利用については、新庁舎のセキュリティや運営を勘案しながら、引き続き検討してまいります。</p>
18	<p>近年、デジタル化やオンライン学習の普及により、学生や地域住民が自宅、カフェ、図書館等の様々な場所で勉強を行うことが可能になっているが、那須塩原市では需要に対して十分な供給があるとは言えないため、庁舎の閉庁時間帯も利用できる学習スペースを検討してほしい。</p>	<p>学習スペース利用について、市役所のセキュリティや運営を勘案しながら、引き続き検討してまいります。</p>
19	<p>議場の傍聴席は、車いすで利用することができるが、議員、議長席に関しては段差がある。議員、議長席では、車いす等で利用できるのか。</p>	<p>議員席の最前列は、段差がないため、車いすによる利用が可能です。議長席について、車いすによる利用を要する場合は、段差解消機の導入を検討いたします。</p>
20	<p>4階の展望スペースは、山々を眺めることができるため、観光スポットになると思う。展望スペースについては、閉庁時間においても利用できるようにしてほしい。</p>	<p>閉庁時の展望ロビー利用について、市役所のセキュリティや運営を勘案しながら、引き続き検討してまいります。</p>